



共創

NO 12

令和4年2月28日発行

あたたかな言葉・あたたかな心につつまれて！

2月25日(金)、「6年生に感謝する会」が行われました。

今年も、新型コロナウイルス感染症への対応のため、全児童での集会を行うことができず、録画した各学年のメッセージを6年生が会場で見るという形で行いました。

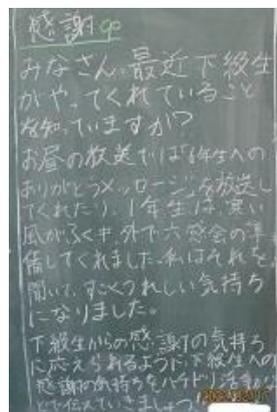
こうした形の会でも、6年生に感謝の思いを伝えようと、実行委員を中心に、5年生の子どもたちが計画し、1～4年生に呼びかけながら準備を進めてきました。2月に入ると、6年生が使う階段や廊下には「6年生ありがとう」のメッセージが、1～4年生が使う廊下や階段には「6年生に感謝の思いを伝えよう」というメッセージが掲示されました。また、お昼の放送では、下級生が書いた6年生へのありがとうメッセージを紹介してきました。そして、会場となった体育館の壁面には、下級生が学級ごとに作ったメッセージボードが掲示されていました。そのボードには、6年生への感謝の思いが綴られ、どの言葉も実にあたたかな言葉ばかりでした。そんな下級生たちの感謝の思いは6年生にもわっていました。

6年スペースの入り口にある掲示板には、毎日、子どもたちのメッセージが書かれています。家族や仲間への思いと共に、下級生への思いも綴られていました。少し紹介します。



♥ 5年生が作ってくれている掲示物、とてもうれしいですね。昇降口の掲示には、1～5年生のメッセージが貼られています。今、1～5年生は、6感会のためにがんばってくれています。そんな人たちのために、あなたはどんなことを伝えたいですか。僕は委員会の時などに「ありがとう」を伝えようと思います。

♥ 皆さん、最近下級生がやってくれていることを知っていますか？お昼の放送では6年生へのありがとうメッセージを放送してくれたり、1年生は寒い風が吹く中、外で6感会の準備をしてくれたりしていました。私はすごく嬉しい気持ちになりました。下級生からの感謝の気持ちに応えられるように、下級生への感謝の気持ちをハチドリ活動などで伝えていきたいと思います。



そして、迎えた「6年生に感謝する会」当日、下級生からのVTRメッセージを食い入るように見つめ、満面の笑みを浮かべる6年生。1年生のメッセージに感激し、思わず目から涙をこぼす子もいました。

重点目標「あたたかな言葉で伝え合い、つながろう！」を合言葉に取り

組んできた1年間。こうした子どもたちの姿に、あたたかな言葉やあたたかな心が互いに伝わり合い、つながっていることを実感し、大変嬉しく思いました。(校長 小林正宣)

